



天文台だより

銀河の森天文台
2019 冬号
Vol. 82

11/10、驚き！おもしろ科学実験2018を開催！



内野志織さんによるミニ講演会の様子

「驚き！おもしろ科学実験2018」を11月10日(土)に開催しました。今年には新たに、陸別中学校ボランティア部と陸別町地域おこし協力隊の参加があり、名古屋大学、北海道大学、北見工業大学、足寄動物化石博物館等、たくさんの実験コーナーが並び、館内は大盛況でした。

ミニ講演会では、写真家の内野志織氏による講演「オーロラへの想い～カナダでの暮らし～」を開催しました。内野さんには夜も「オーロラ・夜空の撮影方法」と題して、一般向けのワークショップも開催していただき、学生星空サミットで集まった50名の学生も内野さんのお話を興味深く聞いて、夜空を撮るためのカメラの設定方法などを学んでいました。

今年で7回目を迎えたおもしろ科学実験ですが、昼間開催する子供向けのイベントとして大変人気があり、参加してくれる陸別の子供たちも年々増えてきました。協力関係の皆様にも大変感謝しております。

「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

相対性理論が最も効率良く働いたのでしょうか。歳をとるにつれて、特に今年は、月日の流れが非常に速く感じられ、もう12月です。新しい年はすぐそのコーナーを回りました。昨年暮れから今年の秋までに、当天文台オープン20周年記念イベント、全国共同利用シンポジウム、そしてハイライトである陸別町開町100年記念式典が挙行され、時の流れの速さを実感しています。

先日、毎年受けてきた健康検診の結果を聞きに行ってきました。担当医の言葉、「どの器官のどの数字も立派で、35年間安定しています。全く羨ましい限りです。」ということは、このパーキンソン病にさえかかっていなかったら。。。と思えば、複雑な気持ちになってしまいます。パーキンソン病とドーパミンの関係は、ほんの20年前のノーベル賞の対象でした。

この原因不明の難病患者は、日本に15万人いるそうです。外因、内因がありますが、ひょっとして、外因は宇宙の彼方からやって来る高エネルギー粒子なのでは？



(上出洋介館長)

9/8、国立天文台縣秀彦准教授講演会を開催！

9月8日(土)、国立天文台縣秀彦(あがたひでひこ)准教授をお迎えし、講演会「アインシュタインも間違えた？～膨張するふしぎな宇宙～」を開催しました。



講演会でお話をする縣秀彦先生

講演会では、宇宙の成り立ちや最新の天文観測などについてのお話がありました。9月6日に起きた胆振東部地震の影響がまだある中で、予想以上の方々が集まり、縣先生の興味あるお話を聞くことができました。

「オーロラウィーク2019」

1/30～2/10、オーロラ生中継開催！

2019年1月30日(水)～2月10日(日)の期間、カナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継を今年も開催します。「オーロラウィーク2019」では、現地で撮影されているオーロラの全天画像をリアルタイムで受け、天文台のプラネタリウムドームに投影します。

イエローナイフとの時差は、-16時間で、ちょうど天文台開館時間帯が現地の夜になります。現地が晴れていれば、高確率でオーロラが出現しています。

期間中、上出館長やスタッフによるオーロラ予報やオーロラ検定(初級・中級・上級)も開催します。

開催日時: 1月30日(水)～2月10日(日)

中継: 午後2時～8時まで(投影時間: 1回15分程度)

※ 現地の天候や観測状況により中継時間が変わることがあります。

協力: The AuroraMAX Observatory at Yellowknife, NWT, Canada is operated by The University of Calgary, The Canadian Space Agency, and Astronomy North.

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
1月 1日	6:54	16:03	24.8	1:51	12:55
1月 15日	6:51	16:18	9.1	11:31	0:06
2月 1日	6:38	16:39	26.1	3:52	13:24
2月 15日	6:21	16:58	10.2	11:54	2:16
3月 1日	5:59	17:16	24.2	2:41	12:08
3月 15日	5:35	17:34	8.5	10:36	1:10

天文行事&暦

1月

- 12/30-1/5 天文台休館日
- 4 しぶんぎ座流星群が極大 (AM11時 最大30個/時)
- 6 小寒(24節気:太陽黄経285°)
●新月
部分日食(陸別:食始8:49、食最大(0.55)10:18、食終11:53)
金星が西方最大離角 (光度:-4.4等, 離角:47.0°)
- 20 大寒(24節気:太陽黄経300°)
- 21 ○満月
- 30-2/10 オーロラウィーク2019

2月

- 1/30-2/10 オーロラウィーク2019
- 4 立春(24節気:太陽黄経315°)
- 5 ●新月
- 19 雨水(24節気:太陽黄経330°)
- 20 ○満月
- 27 水星が東方最大離角 (光度:-0.4等, 離角:18.1°)

3月

- 6 啓蟄(24節気:太陽黄経345°)
- 7 ●新月
- 8-24 2018年度銀河の森天文台写真展
- 21 春分(24節気:太陽黄経0°)
○満月

2019年太陽系天体みどころカレンダー

★黒線期間が見頃の時期、点線期間は短時間ですが見える時期になります
○:満月 ●:新月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月	○ 21 ● 6	○ 20 ● 5	○ 21 ● 7	○ 19 ● 5	○ 19 ● 5	○ 17 ● 3	○ 17 ● 3	○ 15 ● 13	○ 14 ● 29	○ 14 ● 28	○ 12 ● 27	○ 12 ● 26
太陽	晴れていれば館内で、太陽望遠鏡で撮影した現在の太陽の映像を見ることができます。											
水星												
金星												
火星												
木星												
土星												
天王星												
海王星												

天文台開館中、太陽系の天体たちが見ごろとなる時期をカレンダーにまとめました。2019年は、年が明けてすぐ、1月6日に3年ぶりの部分日食が見られます。12月26日にも2回目の部分日食が見られますが、北日本・東日本では太陽が欠けたまま沈みます。日食を観察する際には、日食メガネなどを使い安全に楽しみましょう！

毎年大人気の木星・土星は、2019年の見ごろが夏となります。火星は徐々に見ごろを終え、来年の最接近まで待ち遠しい日々となりそうです。

金星は、しばらく明けの明星として、夜明け前に東の空で輝いており、8月13日に外合を迎えた後、宵の明星へと移り変わります。望遠鏡で観察できるのは10月頃からです。

見ごろの短い水星は、お昼から日没頃までが観察できる時間の目安となります。

望遠鏡で、肉眼で、今年もたくさん空を見上げましょう。みなさまのご来館をお待ちしています！

冬のイベント情報!!

☆2018年度銀河の森天文台写真展

銀河の森天文台で撮影した最近1年の写真を展示します。合わせて、皆様が最近1年で撮影された天体写真を公募し展示します。詳しい応募方法は天文台HPをご覧ください。

募集期間: 1月6日(日)~2月28日(木)

展示期間: 3月8日(金)~24日(日)

ペッコカめぐり「睡眠不足の季節」

北海道の冬は夜が長く、「まだ暗いから」と撮影を続けていると午前5時を過ぎてしまいます。天文台の仕事は午後からとはいえ、これでは睡眠不足になってしまいます。陸別の冬は良く晴れますから、連日の撮影で睡眠不足になってしまわないように、たとえ晴れていたとしても、適度な時間で切り上げなければなりませんね。

ちなみに夏は夜がとても短く、午前1時過ぎには明るくなり始めてしまいます。



どんなに撮影を頑張っても、睡眠不足の心配はほとんどないのですが、撮影できる時間が冬の半分以下になってしまうのは困ったものです。(中)

天文台からのお知らせ

☆ 12月30日(日)~1月5日(土)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館 (銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp